



マウンテンバイクアジア選手権 全員メダル獲得!

シクリスムエコー No.195 2012年11月号



2012ジャパンカップサイクルードレース…………… 2



'12-'13 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス# 1 … 5



2012年マウンテンバイク・アジア選手権大会…………… 6

日本代表選手団…………… 8

今後の大会予定…………… 8

連盟の動き…………… 8

競技大会結果…………… 9

日本新記録…………… 11

第29回全日本BMX選手権大会…………… 12



日本が生んだ世界のスポーツ

**KEIRIN**



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringing-keirin.jp>

## 2012 ジャパンカップサイクルロードレース イヴァン・バッソ、満を持してのJC初優勝

雲ひとつない快晴に恵まれた2012 ジャパンカップサイクルロードレース、気温は25℃に達しているだろうか。一昨年のオープンロードの日も暖かったが、10月下旬のこの時季に、これほど気温の高い宇都宮市森林公園は記憶にない。

今年も7万人以上の大観衆が集まったジャパンカップ、今年エントリーしたUCIプロツアーチームは、ガーミン・シャープ、リクイガス・キャンデール、オリカ・グリーンエッジ、チームサクソバンクの4チーム。ガーミンのエースは

昨年この大会を制したネイサン・ハース、一昨年の優勝者のダニエル・マーティンもエントリーに名を連ねる。リクイガスのエースナンバーは今年のツール区間3勝のペテル・サガンだが、ここ数年の常連選手であるイヴァン・バッソにも優勝への期待は高い。

そして今大会の最注目選手は2人の日本人エースだろう。オリカのエースは別府史之で、ロード出場は'06年以來の6年ぶり。サクソバンクのエースは今年チームに加入した宮澤崇史。2人には'97の阿部良之以來の日本人制

覇に期待がかかる。

レースは1周目の古賀志林道から激しい主導権争いが繰り広げられた。山頂からの下りで飛び出したのは六峰巨(日本ナショナル)、内間康平、中根英登(以上NIPPO)、井上和郎(ブリヂストン)の4名。その4名を追いかけるのは福島晋一(日本ナショナル)、小森亮平(NIPPO)、初山翔(ブリヂェン)、阿部嵩之(シマノ)の同じく4名。県道(6km)のポイントで両集団の差は8秒ほどであったが、田野(7km)のポイントまでに合流して8名の先頭集団が



ROAD RACES



CRITERIUMS



日本勢 8 名の先頭集団

形成される。先頭集団は綺麗なローテーションでペースを上げ、21分49秒のラップタイムで1周目からメイン集団に2分の差をつける。

先頭集団にプロツアーチームの選手がいけないということもあって、メイン集団の警戒感はやや薄いですが、それでもプロツアーチーム勢のコントロールによってその差は2分30秒前後に抑えられる。1回目の山岳賞が掛かった3周目の古賀志林道の山頂でその差は3分にまで開くが、それ以上差が開くことをメイン集団は許さない。3周目の県道のポイントでの3分10秒差がこのレースでの最大のピハインドで、2回目の山岳ポイントである6周目でも山頂で3分ほどにしか差が開かない。メイン集団は3周回完了時の2分58秒を除き、7周回完了時までにはS/F地点で先頭集団との差を2分30秒以内とする、見事な集団管理能力を見せた。

1回目、2回目とも山岳賞は中根と初山のマッチレースとなり、2回とも中根が山岳賞を獲得した。2回目の山岳賞のペースアップに穴峰がついていくことができず、先頭集団は7名に。また2回の山岳賞争いのダメージが大きかったのか、中根も程なく先頭集団から脱落して先頭集団は6名となる。

順調に1周23分台のペースで周回を重ね、次にレースが動くのは3回目の山岳賞が掛かる9周目かと思われたが、8周目の古賀志林道の上りで福島、小森、阿部の3名が脱落し先頭は3名となる。更に同じ周の鶴C.C (13.5km)地点の上りで初山が脱落し、先頭はこれで内間と井上の2名。8周目のラップタイムは22分22秒と1分近くペースアップしており、この周回に先頭集団の振り落としが繰り返されていたことがうか

がえた。もちろんメイン集団がこの動きを見逃すはずがない。メイン集団のラップタイムは21分40秒で、差は一気に40秒近く縮まり1分34秒となる。

3回目の山岳賞は井上が獲得したが、先頭集団はそれを上回るペースで古賀志林道を上り、山頂で先頭との差は30秒。先頭2名は田野のポイントまではこの差をキープするが、ここから細かい上りが続く萩 (9km) のポイントまでに、メイン集団から飛び出した7名に吸収される。9周目完了時、鶴の上りで飛び出したジュリアン・デビッド・アレドンド (NIPPO) と後続7名との差は20秒、メイン集団はそれに遅れること43秒。アレドンドのラップタイムは20分30秒ほどで、いよいよ本格的な戦いが始まった。

アレドンドと追走7名との差は山頂で15秒、その15秒後に6名が続く。その6名の中にペテル・サガン、バツ、マーティンの3名の優勝候補がいる。アレドンドを吸収した先頭集団8名と後続6名との差は、田野のポイントでわずか6秒。ここからアタック合戦となり集団の絞り込みが始まる。バツを先頭まで引き上げたサガンのレース



9 周完了の鶴カントリーを 1 人先行するアレドンド

はここで終了、リクイガスのエースはサガンだ。

レースは残り1周、S/F地点を通過した先頭集団はバツ、マーティン、クリスチャン・メイヤー (オリカ・グリーンエッジ)、ラファル・マイカ (サクソバンク)、アレドンドの5名。6秒差でサイモン・クラーク (オリカ・グリーンエッジ)、清水都貴 (ブリヂストン) の2名が続く。後続2名はすぐに追いつき、7名で古賀志林道の最後の正念場に入る。この上りを制したのはマーティン、マイカ、アレドンド、バツの順で4名。山頂の手前でアタックを仕掛けたマーティンが下りでの逃げを試みるが成功せず、県道からの平坦路で先頭集団は再び4名に。4名はローテーションを組み、勝敗を決するのはゴール前スプリント勝負の様相となった。



最後の鶴を行く、マイカ、バツ、アレド

残り1km、スプリントを得意とするマーティンが前へ、マイカとバツがチェックに入るがアレドンドは前に出ることができない。残り500m、マーティンが先頭で徐々にスプリント態勢に入る。しかしマークするバツがマーティンをかかわしてフィニッシュ、

'06年にジロを制したベテランがジャパンカップ初優勝を飾った。前半の強力な逃げもあり、優勝タイム4時間1分58秒は、ジャパンカップが現在の距離となった16年間で3番目の好タイム。2位にマーティン、3位にマイカ、健闘したアレドンドは4位となった。清水は59秒遅れの6位で日本人最上位に入った。

ジャパンカップの前日、宇都宮市街地で行われたクリテリウムはヤロスラフ・マリチ (サクソバンク) が優勝。別府が2位となり、3回のスプリント賞は宮澤、窪木一茂 (日本ナショナル)、



フィニッシュ

初山の国内選手3名がそれぞれ獲得した。またこのレースには今季限りの引退を表明している地元宇都宮ブリツェンの広瀬が出場し、場内の熱い声援を受けて9位でフィニッシュした。

マスターとU23・ジュニアの2クラス制となったオープンレース男子は、1組(エリート・マスター)を最終周回の高岡亮寛(東京)とのマッチレースを制した岩島啓太(東京)、2組(U23・ジュニア)を5名のスプリント勝負を制した黒枝士輝(大分)がそれぞれ優勝した。オープンレース女子は、最終3周目に単独アタックを決めた與那嶺恵理(茨城)がビッグレース初優勝、歓喜の涙を流してのゴールとなった。(村田 隆宣)



ナショナルチームの5名



表彰式



オープン男子1組



オープン男子2組のフィニッシュ



オープン女子

**【競技結果】**

2012 シバルカップ サイクルロードレース  
(2012/10/20-21 栃木・宇都宮)

2012 シバルカップ (151.3km)

- 1 BASSO Ivan ITA/LIQ 4:01:58
- 2 MARTIN Daniel IRL/GRS 4:01:58
- 3 MAJKA Rafal POL/STB 4:01:58
- 4 ARREDONDO Julian-David COL/PPO 4:01:58
- 5 MEIER Christian CAN/OGE 4:02:44
- 6 清水 都貴 JPN/BGT 4:02:57

7/27 最優秀選手賞

- 1 清水 都貴 JPN/BGT

U23 最優秀選手賞

- 1 LEMUS DAVILA Luis MEX/JBC

クリテリウム (30.0km)

- 1 MARYCZ Jaroslaw POL/STB 41:51

- 2 別府 史之 JPN/OGE 41:51
- 3 McEWEN Robbie AUS/SPL 41:51
- 4 VON HOFF Steele AUS/GRS 41:51
- 5 DAVISON Luke AUS/BFL 41:51
- 6 HUFF Brad USA/JBC 41:51

オープン男子 総合 (80.8km)

- 1 岩島 啓太 東京 2:09:20
- 2 高岡 亮寛 東京 2:09:29
- 3 青木 峻二 愛知 2:09:44
- 4 NOHALES NIETO Edgar 神奈川 2:09:44
- 5 西谷 雅史 東京 2:09:44
- 6 原 充弘 神奈川 2:09:44

オープン男子 第1組 (80.8km)

- 1 岩島 啓太 東京 2:09:20
- 2 高岡 亮寛 東京 2:09:29
- 3 青木 峻二 愛知 2:09:44
- 4 NOHALES NIETO Edgar 神奈川 2:09:44

- 5 西谷 雅史 東京 2:09:44
- 6 原 充弘 神奈川 2:09:44

オープン男子 第2組 (80.8km)

- 1 黒枝 士輝 大分 2:12:15
- 2 岡 篤志 茨城 2:12:15
- 3 木村 圭佑 滋賀 2:12:15
- 4 山本 隼 山梨 2:12:15
- 5 小石 祐馬 京都 2:12:15
- 6 小橋 勇利 愛媛 2:13:06

オープン女子 (42.3km)

- 1 與那嶺恵理 茨城 1:17:01
- 2 片山 梨絵 神奈川 1:18:19
- 3 上野みなみ 青森 1:18:54
- 4 西 加南子 千葉 1:18:54
- 5 金子 広美 三重 1:19:02
- 6 福本 千佳 大阪 1:19:11

## '12-'13 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス# 1

ケイリン(河端)、男・女チームスプリントで銀メダル!



ケイリン決勝の河端

2012-2013シーズンの幕開けを告げるとトラックワールドカップは第1戦が2012年10月11日～13日にコロンビア・カリで開催された。

今年のトラックワールドカップは3大会が予定され、第2戦が2012年11月16日～18日イギリス・グラスゴー、第3戦が2013年1月17日～19日にメキシコ・アグアスカリエンテスで開催される。そして、その後トラック世界選手権大会が2013年2月20

日～24日にベラルーシ・ミンスクで開催される予定である。

37チーム(男子98名、女子41名)がエントリー。五輪後ということもあり参加人数が少なかったとはいえ、日本チームは男・女に共チームスプリントで銀メダルを獲得し、特に女子ではトラックワールドカップでは初の表彰台となった。また、ケイリンでは河端が銀メダルを獲得し出場選手5名全員がメダルを日本に持ち帰った。

## 【競技結果】

2012-'13UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#1  
(2012/10/11-13 コロンビア・カリ)

## 男子スプリント

- 1 THIELE Philipp GER
- 2 PUERTA Fabian COL
- 3 ENGLER Eric GER
- 6 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山
- 9 坂本 貴史 JPCA JPCU 青森

## 男子1kmタイムトライアル

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| 1 PUERTA Fabian COL    | 1:00.982 |
| 2 EMADICOFFIN Kian GBR | 1:01.368 |

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| 3 LAFARGUE Quentin FRA | 1:01.386 |
| 12 稲毛 健太 JPCA JPCU 和歌山 | 1:04.670 |

## 男子ケイリン

- 1 PUERTA Fabian COL
- 2 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山
- 3 SCHROEDER Marc GER



## 男子チームスプリント

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1 ドイツ         | 44.150 |
| 2 日本 河端・坂本・稲毛 | 45.947 |
| 3 ベネチア        | 47.128 |

## 女子スプリント

- 1 LEE Wai Sze HKG
- 2 JAMES Rebecca Angharad GBR
- 3 VARNISH Jessica GBR
- 7 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大学
- 9 石井 寛子 東京 日本競輪学校

## 女子ケイリン

- 1 GAVIRIA Juliana COL
- 2 GAXIOLA GONZALEZ Luz Daniela MEX
- 3 CUEFF Virginie FRA
- 9 石井 寛子 東京 日本競輪学校
- 12 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大学

## 女子チームスプリント

- |            |        |
|------------|--------|
| 1 イタリア     | 33.734 |
| 2 日本 前田・石井 | 35.391 |
| 3 コロンビア    | 35.036 |



男子チームスプリント

新しい翼で、世界の空へ。

member of oneworlds



JAPAN AIRLINES

## 2012年マウンテンバイク・アジア選手権大会

出場全カテゴリーで優勝!



最高の結果とともにこのレースを終えられた事を心の底からうれしく思っています。出場カテゴリー(エリート男子 DH/XCO、エリート女子 XCO、ジュニア男子 XCO)すべてでアジアチャンピオンを獲得できた事と、日本代表選手として参加したすべての選手がメダルを獲得できた事を誇りに思っています。選手、スタッフがチーム一丸となって勝ち取った勝利だと感じています。

2007年にも同じ会場でのアジア大陸選手権大会(以後アジア戦)が予定されていましたが情勢不安からレースが中止になり、今回の大会開催について開会式で『Dreams come true』と熱い口調でレバノン自転車競技連盟会長が語っていたのが印象に残っています。選手団がレバノン・ペイルートに到着したのは10月9日早朝で、そこから滞在先となるホテルまで移動しました。4~5年前まで内戦をしていた爪痕が色濃く残る街を横目に会場に向かいました。今回、滞在するホテルとレース会場は別の場所にあり、ホテルからDH、XCOコースともに車で移動するほどの距離がありました。

DHのコースはスタート地点が2100mを超える高地に設置され、岩が崩れたような斜面を縫うようにコースが設定されていました。距離は1.8km。選手の情報によると前半は斜度がきつくハイスピードで、後半には斜度が緩くなりペダルを踏むコースだ



ダウンヒルの清水(左)と青木

とっていました。代表の2選手はともにコースチェックをしてベストなライン、最速の走り方を相談しながら予選日を待ちました。

そして予選日当日(10月12日)。コースがイージーな事から、ハイスピードなレースが展開されました。予選では清水選手が1位通過、青木選手がコース中盤でのパンクがあったにも関わらず13位でゴールし、翌日の決勝に駒を進めました。

決勝当日(10月13日)、リラックスした状態でホテルを出ていきました。結果は清水選手が優勝、アジアチャンピオンの称号を獲得しました。そして、青木選手が予選の悔しさを跳ね除ける快走で3位表彰台を獲得しました。表彰式では日本国旗2つがレバノン

の青い空を飾りました。優勝の清水選手の決勝でのアベレージスピードは50.76km/hでした。

DH組の好成績にXC組も刺激を受ける事ができました。『絶対に自分達も!』そんな空気が日本チームを支配していました。XCコースは標高1300m付近に設定されたコースで1周5.6kmの乾いた大地をうまく使ったコースになっていました。コース前半はテクニカルなアップダウンが続き、後半は1.5kmほどのアップヒルが続く、テクニックと登坂力を問われるコース設定になっていました。日本選手団は現地に到着翌日からコース試走を行い、ポイントとなる箇所のトレーニングを重ねていきました。レース前のミーティングではジュニア男子が3周、女子エリートが4周、男子エリートが5周との発表があり、それぞれがレースのイメージを膨らませてレース当日を待ちました。

レース当日(10月14日)、天候は晴れ。朝9時からレースの女子エリート片山選手は早朝より準備を進め、レース本番を迎えました。レースではスタート直後に選手同士の接触によりスポーク2本が折れるというアクシデントがあったものの先頭を譲ることなく1周を走り、テクニカルゾーンで新しいホイールに交換し再スタートをして、その後は独走に持ち込み2位に3分近い差をつけて優勝。引退を表明している片山選手にとって最高の勝利



男子エリートダウンヒル金の清水



男子エリートダウンヒル銅の青木



女子エリートクロスカントリー金メダルの片山

## 女子エリートクロスカントリー片山のフィニッシュ



となり、自身2度目となるアジアチャンピオンを獲得しました。

男子エリートは11時のスタート。レース序盤から山本幸平選手が独走に持ち込み、そのまま優勝。自分は1

周目後半の登りで2位になり、3位に1分の差をつけてゴールしました。山本幸平選手は4度目のアジアチャンピオン獲得。兄弟でのアジア戦でのワンツーが夢だった自分にとってとてもうれしい結果となりました。

ここまで日本チームが出場カテゴリすべてでチャンピオンを獲得している空気の中、ジュニアの前田選手がスタート準備を進めていきました。相当緊張している様子でスタートラインに並びましたが、1周目から2位のカザフスタンの選手に30秒近い差をつけて自信に満ち溢れる顔で独走を続けました。最終周では下りでトラブルが起きないように慎重に走ったとの言葉はありましたが、2位に1分近くの差をつけて優勝しました。

今回日本チームは4枚のアジアチャンピオンジャージを勝ち取り、計6個のメダルを獲得する事ができました。信頼できる仁木メカニックと渡辺マッサーのサポート、そして各個人レベルでのこれまでの努力が実を結ぶ結果となりました。今回チームの雰囲気は終始リラックス状態にあり、それが今回のレース結果に現れていると確信しています。今回のこの成績を維持、向上していくには個人レベルでの強化はもちろん、チームJAPANとしての組織的な活動をプラスしていく必要があると感じます。今回アジア選手権に参加した選手、そしてスタッフには自信と誇りを持って今後の活動に活かしていってほしいと思っています。

(山本 和弘)



男子エリートクロスカントリー金メダルの山本幸平



男子エリートクロスカントリー銀メダルの山本和弘

今こそ資源の有効利用を

Toko Metal  
Multi Material Recycler

創業110年の歴史

原材料再生のエキスパート

24時間対応の柔軟な受入体制

東港金属株式会社

www.tokometal.co.jp



男女エリートのクロスカントリー選手達

**【競技結果】**

2012 年マウンテンバイク・アジア選手権大会  
(2012/10/10-14 日本・Baskinta)

男子エリートダウンヒル (1.8km)

- 1 清水 一輝 愛知 AKI FACT 2:07.655
- 2 TAN Hong Chun SIN 2:10.940
- 3 青木 卓也 東京 ジャイアント 2:11.877

男子エリートクロスカントリー (28.4km)

- 1 山本 幸平 北海道 スパシオ 1:37:43.066
- 2 山本 和弘 北海道 キャンペール 1:40:14.502
- 3 GOLOVASCHEENKO Artyom KAZ 1:41:14.578

女子エリートクロスカントリー (22.8km)

- 1 片山 梨絵 神奈川 スパシオ 1:33:53.407
- 2 BAI Yue CHN 1:36:41.485
- 3 THI NHU QUYNH Dinh VIE 1:47:52.920

男子ジュニアクロスカントリー (17.2km)

- 1 前田 公平 東京 Endless 1:05:28.217
- 2 FEDOSSEYEV Artur KAZ 1:06:27.904
- 3 CHIANG Sheng Shan TPE 1:07:02.155



男子ジュニアクロスカントリー金メダルの前田

2012 ジャパンカップサイクルードレース  
日本代表選手団

大会名 2012 ジャパンカップサイクルードレース  
開催場所 栃木県宇都宮市  
大会期間 2012 年 10 月 20 日～ 21 日  
派遣期間 2012 年 10 月 19 日～ 21 日

代表選手団

- 総監督 松本 整 (JCF ナショナルチーム総監督)
- 監督 高橋 松吉 (JCF 強化コーチ)
- メカニック 藤原富美男 (JCF ロード競技部会支援スタッフ)
- マッサー 石田 宗男 (JCF 強化スタッフ)
- 選手 福島 晋一 (JPCA・トレンガヌ プロアジア)
- 土井 雪広 (山形・アルゴス・シマノ)
- 窪木 一茂 (和歌山・マトリックス)
- 中尾 佳祐 (埼玉・順天堂大学)
- 六峰 亘
- (大分・プリヂストンアンカーサイクリングチーム U23)

今後の大会予定

期日	大会名	種目	場所
11月16日～18日	2012-2013 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2	TR	イギリス/グラスゴー
11月17日～18日	伊豆BMX国際 (UCIクラス5)	BMX	静岡/日本CSC
11月18日	信州クロス野辺山高原ラウンド (UCIクラス2)	CX	長野/南佐久
11月24日～25日	ツール・ド・おきなわ2012	RR	沖縄/北部地域
11月25日	関西シクロクロス野洲ラウンド (UCIクラス2)	CX	滋賀/野洲
12月1日～2日	第43回全日本室内自転車競技選手権大会	ID	大阪/大阪府立体育館
12月9日	第18回全日本シクロクロス選手権大会	CX	静岡/富士宮

連盟の動き (10月中旬～11月上旬)

- 10月10日 第2回ロード強化合宿 於：千葉・鴨川 (～14日)
- 12日 ジュニアロード強化合宿 於：静岡・日本サイクルスポーツセンター (～15日)
- 17日 2012トラッククラブACCカップ代表選手団出発 於：イラン・テヘラン 帰国→10/24
- 19日 ジュニアトラック強化合宿 於：静岡・伊豆ペロドローム (～23日)
- 第2回アンチドーピング委員会 於：栃木・宇都宮市
- 29日 第3回選手強化委員会 於：東京・日本自転車会館3号館4階
- 11月6日 第6回広報部会 於：東京・日本自転車会館3号館3階

# 競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

## ジパングシリーズ J1 富士見パワァ XCO#5/DHI#4 (2012/9/16-17 長野・富士見)

### 男子リト タウヒル

- 1 清水 一輝 愛知 AKI FACT.2:26.160
- 2 井手川直樹 広島 Devinci 2:30.205
- 3 永田 隼也 神奈川 A&F 2:32.531

### 女子リト タウヒル

- 1 末政 実緒 兵庫 Funfancy 2:54.192
- 2 中川 弘佳 大阪 RingoRoad3:03.228
- 3 九島あかね 神奈川 KHS 3:05.940

### 男子リト クスガトリ (28.0km)

- 1 斉藤 亮 長野 MIYATA 1:41:08.06
- 2 山本 和弘 北海道 キャノンデール1:44:25.35
- 3 平野 星矢 長野 Anchor 1:46:31.51

### 女子リト クスガトリ (14.8km)

- 1 中込由香里 長野 SY-Nak 1:08:47.40
- 2 與那嶺恵理 茨城 フォルツァ! 1:10:08.12
- 3 田近 郁美 岐阜 GodHill 1:10:39.38

## 第 14 回全日本学生選手権クワリム大会 (2012/10/8 滋賀・東近江クワイル湖東)

### 男子

- 1 吉岡 直哉 京都 京都産業大
- 2 黒枝 士揮 大分 鹿屋体育大
- 3 和田 力 和歌山 日本大
- 4 高宮 正嗣 北海道 鹿屋体育大
- 5 中根 英登 愛知 中京大
- 6 渡辺 洋平 東京 立教大

### 女子

- 1 上野みなみ 青森 鹿屋体大 32:20.79
- 2 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体大 32:24.16
- 3 木村 亜美 鹿児島 鹿屋体大 34:51.08
- 4 浅田 聖奈 愛知 中京大学 34:51.12
- 5 神田 紗希 鹿児島 鹿屋体大 35:35.10

## ジパングシリーズ J1 石川 XCO#6 (2012/10/14 石川・白山一里野温泉)

### 男子リト クスガトリ (28.0km)

- 1 斉藤 亮 長野 MIYATA 1:26:59.87
- 2 平野 星矢 長野 Anchor 1:30:23.68
- 3 小野寺 健 北海道 Specialized1:32:17.57

### 女子リト クスガトリ (20.0km)

- 1 中込由香里 長野 SY-Nak 1:22:51.18
- 2 田近 郁美 岐阜 GodHill 1:25:48.19
- 3 相野田静香 長野 GROW 1:32:14.19

## 日本スプリントマスターズ 2012 自転車競技会 (2012/10/21 高知・高知)

### 1 部 (35 ~ 40 歳未満 45.6km)

- 1 青江 良治 岡山 1:21:22.103
- 2 寺本 道彦 島根 1:22:47.196
- 3 中西一太郎 岡山 1:22:48.904
- 4 青木 順吾 山口 1:22:49.155
- 5 門田 基志 愛媛 1:22:49.424
- 6 福田 透 滋賀 1:22:49.783

### 2 部 (40 ~ 45 歳未満 45.6km)

- 1 内田 新二 愛知 1:07:27.958
- 2 山口 忠行 広島 1:07:29.277
- 3 森 俊夫 奈良 1:07:29.442

- 4 宇井 賢司 福井 1:07:29.491
- 5 堀田 貴洋 岡山 1:07:29.668
- 6 生田 憲司 徳島 1:07:29.697

### 3 部 (45 ~ 50 歳未満 45.6km)

- 1 松井 久 大阪 1:10:16.359
- 2 藤原 龍治 岡山 1:10:16.851
- 3 世原 康彦 岐阜 1:10:16.865
- 4 羽田野隆彦 東京 1:10:17.240
- 5 Kendall Tim 愛知 1:10:17.644
- 6 角田 光隆 奈良 1:10:17.779

### 4 部 (50 ~ 55 歳未満 30.6km)

- 1 安東 秀倫 岡山 48:10.100
- 2 松井 正通 京都 48:10.117
- 3 福島 雄二 熊本 48:10.164
- 4 竹内 正宏 神奈川 48:10.268
- 5 佐藤 修 北海道 48:10.458
- 6 長谷部博則 高知 48:10.539

### 5 部 (55 ~ 60 歳未満 30.6km)

- 1 澤田 龍之 静岡 49:58.455
- 2 吉川 伸 奈良 49:58.912
- 3 宮岡 博 山口 49:58.955
- 4 宮本 光則 石川 49:58.997
- 5 井上 善広 広島 49:59.122
- 6 町田 雅俊 高知 49:59.270

### 6 部 (60 歳以上 24.6km)

- 1 磯部 喜男 滋賀 41:22.976
- 2 木村 澄義 山口 41:23.219
- 3 吉田 正紀 岩手 41:23.705
- 4 藤田 和夫 茨城 41:24.231
- 5 山本 章造 岡山 41:24.254
- 6 安井 光造 滋賀 41:24.333

### 女子 (24.6km)

- 1 濱田 真子 東京 40:46.720
- 2 菱田恵美子 滋賀 40:48.146
- 3 平松 孝子 岡山 40:48.437
- 4 菊池 香 神奈川 40:48.554
- 5 三井 由香 兵庫 40:49.347
- 6 梶 徳恵 香川 40:50.714

## 2012 トラッククラブ ACC カップ (2012/10/21-22 イソ・テハラ)

### 男子スプリント

- 1 PARASH Mahmoud IRI
- 2 PARASH Mohammad IRI
- 3 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山

### 男子チームスプリント

- 1 Pishgaman Kavir IRI 1:00.171
- 2 Azad University IRI 1:01.916
- 3 CCT 稲毛・河端・坂本 1:01.590

### 男子ケリ

- 1 PARASH Mohammad IRI
- 2 PARASH Mahmoud IRI
- 3 ALI ASKARI Ali IRI
- 5 稲毛 健太 JPCA JPCU 和歌山
- 6 坂本 貴史 JPCA JPCU 青森

### 男子 1km タイムトライアル

- 1 PARASH Mahmoud IRI 1.04.764
- 2 NESHATVAR Sina IRI 1.05.645
- 3 DANESHVARKHOURRAM Mohammad IRI 1.05.651
- 4 稲毛 健太 JPCA JPCU 和歌山 1.05.952

## クスガトリ-in 白馬さのさか J1 XCO#7 (2012/10/28 長野・白馬スノーパーク)

### XCO 男子リト (35km)

- 1 山本 和弘 北海道 キャノンデール1:40:04.98
- 2 斉藤 亮 長野 MIYATA 1:41:13.85
- 3 平野 星矢 長野 BS アンカー 1:42:27.29

### XCO 女子リト (25km)

- 1 片山 梨絵 神奈川 Specialized 1:21:27.26

- 2 與那嶺恵理 茨城 フォルツァ! 1:26:49.98
- 3 中込由香里 長野 SY-Nak 1:33:10.76

## 第 8 回全国ジュニア自転車競技大会 (2012/10/28 三重・四日市)

### A-1 高校生男子 (108.0km)

- 1 岡本 隼 和歌山 和歌北 2:51:29.261
- 2 横山 航太 長野 篠ノ井 2:51:29.514
- 3 草場 啓吾 京都 北桑田 2:51:32.744
- 4 徳田 優 京都 北桑田 2:51:33.100
- 5 小山 貴大 群馬 前橋青 2:52:55.041
- 6 安田 京介 京都 北桑田 2:53:00.679

### A-2 高校生男子 (54.0km)

- 1 今村麟太郎 高知 高東工 1:27:46.427
- 2 浦田 真成 岐阜 岐南工 1:27:47.879
- 3 村田 瑞季 京都 北桑田 1:27:48.298
- 4 村瀬 敦則 岐阜 岐南工 1:27:49.510
- 5 増島 司 岐阜 岐南工 1:27:50.160
- 6 八木 健太 大阪 城東工 1:27:50.508

### A-3 高校生女子 (36.0km)

- 1 坂口 聖香 兵庫 播磨南 1:05:34.582
- 2 谷 伊央里 群馬 前橋青 1:06:45.338
- 3 元砂七夕美 奈良 榛生昇 1:07:15.352
- 4 伊藤 杏菜 愛知 大府東 1:07:17.534
- 5 日野 友葵 愛媛 丹原高 1:07:47.577
- 6 三浦 涼香 愛知 桜花学 1:08:14.315

### B-1 小学校 1・2 年生男子 (5.0km)

- 1 篠島 瑠樹 福井 富田小 10:42.706
- 2 柚木 伸元 三重 泊山小 11:14.065
- 3 福永 隼人 熊本 小国小 11:38.673

### B-2 小学校 1・2 年生女子 (2.6km)

- 1 石上 琴乃 神奈川 釜利谷小 5:43.533
- 2 橋本 のこ 愛知 星の宮小 11:15.393

### B-3 小学校 3・4 年生男子 (9.2km)

- 1 細谷 響貴 埼玉 西北小 18:06.474
- 2 安藤 大知 岐阜 中川小 18:20.453
- 3 佐藤真那也 愛知 三崎小 19:15.852

### B-4 小学校 3・4 年生女子 (9.2km)

- 1 金田 舞夏 神奈川 茅ヶ崎小 20:25.419
- 2 川合 愛華 岐阜 温知小 20:26.384
- 3 坂間 星南 長野 赤穂小 20:27.733

### B-5 小学校 5・6 年生男子 (18.2km)

- 1 日野 泰静 愛媛 石根小 32:52.374
- 2 塩崎 隼秀 愛媛 神戸小 32:53.064
- 3 大河内将泰 三重 花垣小 32:53.965

### B-6 小学校 5・6 年生女子 (9.2km)

- 1 石上 夢乃 神奈川 釜利谷小 17:32.929
- 2 平尾 愛菜 岐阜 小野小 19:13.337
- 3 奥居 美音 東京 港南小 19:24.961

### B-7 中学生男子 (36.0km)

- 1 大町 健斗 広島 二葉中 56:43.637
- 2 石上 優大 神奈川 釜利谷中 56:43.665
- 3 天春 雄也 三重 朝明中 56:57.343

### B-8 中学生女子 (18.0km)

- 1 坂口 楓華 兵庫 稲美中 32:32.290
- 2 古山 稀絵 東京 御園中 32:48.295
- 3 細谷 夢菜 埼玉 八王子中 35:22.873

### B-9 高校生男子 (36.0km)

- 1 谷口 白羽 愛知 星城高 59:54.108
- 2 谷口 跳馬 愛知 日進高 1:00:39.076
- 3 中村 友哉 三重 相可高 1:00:53.251

### B-10 高校生女子 (27.0km)

- 1 阿間見 眸 愛知 三好高 49:44.011
- 2 木下 涼風 東京 東家政付 52:21.633
- 3 辻 明香利 岐阜 岐阜総合 56:48.836

### C-1 小学校 1・2 年生男子 (2.6km)

- 1 酒井 寛大 三重 朝日小 6:46.593
- 2 前田 凰樹 熊本 宇土小 6:58.657

- 3 小林 東暉 三重 鈴西小 7:23.435  
**C-2 小学校 1・2 年生女子 (2.6km)**  
 1 大平 涼華 滋賀 葉山小 7:48.916  
**C-3 小学校 3・4 年生男子 (9.2km)**  
 1 青山 宗資 三重 羽津北小 23:49.633  
 2 相馬 一輝 奈良 志都美小 24:28.132  
 3 天野 玲 大阪 交野小 26:18.104  
**C-4 小学校 3・4 年生女子 (9.2km)**  
 1 原 優花 三重 水沢小 30:25.182  
**C-5 小学校 5・6 年生男子 (9.2km)**  
 1 松田 裕星 三重 桜小 26:33.315  
 2 中西 優輔 三重 水沢小 26:50.740  
**M-1 未就学児 (0.3km)**  
 23 名出走。順位つけず。

**第 5 回 JBCF 輪島ロードレース**  
 (2012/10/28 石川・輪島)

- P1 (88.60km)**  
 1 飯野 智行 群馬 プリツェン 2:35:07  
 2 増田 成幸 栃木 プリツェン 2:35:08  
 3 清水 都貴 JPCA BS アンカー 2:35:50  
 4 西菌 良太 鹿児島 BS アンカー 2:36:44  
 5 平塚 吉光 静岡 シムレーシング 2:37:25  
 6 窪木 一茂 和歌山 マトリックス 2:38:40

- F (25.60km)**  
 1 西 加南子 千葉 LUMINARIA 53:23  
 2 長谷川 馨 兵庫 NasuFanClub 54:03  
 3 星川恵利奈 香川 湘南ヘルマレ 54:39  
 4 野中 優子 神奈川 YOU CAN 57:38  
 5 菊池 香 神奈川 なるしまフレンド 57:58  
 6 松本 景子 大阪 ZippyタウチRC 59:36

- J Pro 2012 団体年間総合成績**  
 1 宇都宮プリツェン 38075p  
 2 cannondale spacezeropoint 20028p  
 3 マトリックスワークス 19977p

— 地区選手権大会 —

**第 39 回北日本地区選手権大会**  
 (2012/9/29 北海道・函館競輪場) 400m

- 男子スプリント**  
 1 鈴木謙太郎 福島  
 2 成田 和也 福島  
 3 保科 千春 宮城
- 男子 1km タイムトライアル**  
 1 大森 慶一 北海道 1:05.271  
 2 新田 祐大 福島 1:06.218  
 3 坂本 貴史 青森 1:06.241
- 男子ケリッ**  
 1 伏見 俊昭 福島  
 2 山田 敦也 北海道  
 3 小野 大介 福島
- 男子 4km 個人追抜競走**  
 1 鈴木 誠 福島 5:13.76  
 2 櫻井 正孝 宮城 5:15.15  
 3 新山 将史 青森 5:15.55
- 男子リミネイション**  
 1 大澤 哉太 北海道  
 2 守澤 太志 青森  
 3 小野 大介 福島
- 男子チームスプリント**  
 1 福島 伏見・佐藤慎・渡邊 1:15.711  
 2 青森 佐藤博・高橋・坂本 1:15.758  
 3 宮城 菅田和・早坂・菅田幸 1:15.990
- 男子 4km 団体追抜競走**  
 1 青森 守澤・新山・坂本・木村 4:49.63  
 2 宮城 竹山・安部・三浦・櫻井 4:49.99  
 3 福島 鈴木・金澤・緑川・飯野 5:02.74

**第 39 回南関東地区選手権大会**  
 (2012/10/2 神奈川・川崎競輪場) 400m

- 男子スプリント**  
 1 根田 空史 千葉  
 2 吉原 友彦 神奈川  
 3 中井 達郎 静岡
- 男子 1km タイムトライアル**  
 1 柴田 竜史 静岡 1:07.288  
 2 矢口 大樹 千葉 1:07.792  
 3 稲葉 一真 静岡 1:08.448
- 男子ケリッ**  
 1 海老根恵太 千葉  
 2 石毛 克幸 千葉  
 3 林 雄一 神奈川
- 男子 4km 個人追抜競走**  
 1 川崎 健次 神奈川 5:06.65  
 2 山崎 明寛 千葉 5:10.80  
 3 木村 成希 千葉 5:14.85

- 男子リミネイション**  
 1 武井 大介 千葉  
 2 加藤 圭一 神奈川  
 3 和田健太郎 千葉
- 男子チームスプリント**  
 1 神奈川B 郡司・和田・巴 1:15.44  
 2 千葉 中村・田中・伊勢崎 1:15.62  
 3 静岡 石橋・片寄・萩原 1:17.10

- 男子 4km 団体追抜競走**  
 1 神奈川A 遠澤・加藤・柁原・小原 4:38.60  
 2 静岡 山崎・深澤・岡村・村本 4:41.96  
 3 千葉 石井・廣田・湯浅・河上 4:45.81

- 女子 200m タイムトライアル**  
 1 篠崎 新純 千葉 12.78  
 2 浦部 郁里 千葉 12.9  
 3 田畑茉莉奈 千葉 13.44

**第 40 回中部地区選手権大会**  
 (2012/10/2 富山・富山競輪場) 333m

- 男子スプリント**  
 1 金子 貴志 愛知  
 2 篠原 忍 愛知  
 3 板橋 慎治 岐阜
- 男子 1km タイムトライアル**  
 1 竹内 雄作 岐阜 1:04.716  
 2 永井 清史 岐阜 1:05.214  
 3 猪俣 康一 愛知 1:07.352
- 男子ケリッ**  
 1 山口 富生 岐阜  
 2 山田 裕仁 岐阜  
 3 山内 卓也 愛知
- 男子 4km 個人追抜競走**  
 1 児玉 利文 岐阜 5:01.26  
 2 青木 康貴 岐阜 5:01.85  
 3 前田 吉昭 石川 5:04.60
- 男子リミネイション**  
 1 舛井 幹雄 三重  
 2 萩原 操 三重  
 3 山崎 晃 石川
- 男子チームスプリント**  
 1 岐阜 森川・松岡・竹内 1:01.606  
 2 三重 浅井・柴崎淳・柴崎俊 1:02.360  
 3 富山 宮越・吉川・竹田 1:03.553
- 男子 4km 団体追抜競走**  
 1 岐阜 児玉・山口・吉田・川西 4:35.44  
 2 富山 坂上忠・若本・山田・坂上樹 4:36.89  
 3 三重 松岡・坂元・西村・若松 4:40.21

**第 39 回四国地区選手権大会**  
 (2012/10/21 徳島・小松島競輪場) 400m

- 男子スプリント**  
 1 濱田 浩司 愛媛  
 2 香川 雄介 香川  
 3 堤 洋 徳島
- 男子 1km タイムトライアル**  
 1 藤岡 隆治 徳島 1:07.534  
 2 山本 伸一 高知 1:08.688  
 3 橋本 強 愛媛 1:08.697
- 男子ケリッ**  
 1 室井 健一 徳島  
 2 渡部 哲男 愛媛  
 3 佐々木則幸 高知
- 男子 4km 個人追抜競走**  
 1 中村 秀幸 高知 5:15.005  
 2 大久保直也 徳島 5:18.629  
 3 曾我部匡史 愛媛 5:26.438
- 男子チームスプリント**  
 1 高知 篠原・山中・吉松 1:17.680  
 2 徳島 小倉・湊・原田 1:19.634  
 3 香川 池田・宮本・福島 1:22.007

- 男子 4km 団体追抜競走**  
 1 徳島 住村・高田・山形・藤田 4:37.724  
 2 香川 網谷・福島・宮崎・戸田 4:39.404  
 3 愛媛 上田・宇根・鳥生・芳野 4:46.171

**第 39 回九州地区選手権大会**  
 (2012/10/21 佐賀・佐世保競輪場) 400m

- 男子スプリント**  
 1 荒井 崇博 佐賀  
 2 小原 将通 大分  
 3 富永 昌久 佐賀
- 男子 1km タイムトライアル**  
 1 中川誠一郎 熊本 1:05.612  
 2 下沖 功児 宮崎 1:06.848  
 3 成松 春樹 佐賀 1:06.859

- 男子ケリッ**  
 1 園田 匠 福岡A  
 2 松岡 貴久 熊本  
 3 菅原 晃 大分
- 男子 4km 個人追抜競走**  
 1 大竹 慎吾 大分 4:57.823  
 2 成松 春樹 佐賀 4:59.556  
 3 佐藤 幸治 長崎 5:05.273

- 男子リミネイション**  
 1 大塚健一郎 大分  
 2 野田 源一 福岡  
 3 安東 英博 大分
- 男子チームスプリント**  
 1 熊本 松本・森山智・中川 1:15.292  
 2 福岡A 宮本・小川・北津留 1:15.583  
 3 大分 利根・魚屋・萱島 1:16.730

- 男子 4km 団体追抜競走**  
 1 大分 加藤・安東・小岩・鈴木 4:30.984  
 2 佐賀 坂本・一ノ瀬・山田・好永 4:37.428  
 3 福岡A 松尾・永田・柳詰・松永太 4:44.768

**第 35 回近畿地区選手権大会**  
 (2012/10/26 奈良・奈良競輪場) 333m

- 男子スプリント**  
 1 稲垣 裕之 京都  
 2 川村 晃司 京都  
 3 三谷 竜生 奈良
- 男子 1km タイムトライアル**  
 1 窓場千加頼 京都 1:06.669  
 2 稲毛 健太 和歌山 1:06.805

3	佐川 翔吾	大阪	1:07.080
<b>男子ケリツ</b>			
1	村上 義弘	京都	
2	藤木 裕	京都	
3	南 修二	大阪	
<b>男子4km 個人追抜競走</b>			
1	岡嶋 登	大阪	4:45.805
2	角 令央奈	兵庫	4:50.275
3	高田 大輔	和歌山	4:56.978
<b>男子リミネイションズ</b>			
1	三谷 将太	奈良	
2	三谷 政史	滋賀	
3	椎木尾拓哉	和歌山	
<b>男子チームスプリント</b>			
1	福井 市田・脇本・伊原		1:02.970
2	大阪 古性・佐川・岡崎		1:03.698
3	滋賀 水谷・高久保・藤井		1:03.784
<b>男子4km 団体追抜競走</b>			
1	兵庫 井上・角・村田・樋口		4:30.449
2	福井 渡辺+・渡辺航・伊原・鷺田		4:32.089
3	京都 山田・窓場加・佐野・窓場千		4:34.584
<b>第39回中国地区7<sup>0</sup>選手権大会</b> (2012/10/26 山口・防府競輪場) 333m			
<b>男子スプリント</b>			
1	河端 朋之	岡山	
2	西田 雅志	広島	
3	筒井 敦史	岡山	

<b>男子1km タイムトライアル</b>			
1	片岡 迪之	岡山	1:06.987
2	工藤 文彦	岡山	1:07.243
3	在本 直樹	岡山	1:07.346
<b>男子ケリツ</b>			
1	三宅 伸	岡山	
2	岩津 裕介	岡山	
3	桑原 大志	山口	
<b>男子4km 個人追抜競走</b>			
1	大屋 健司	広島	4:56.09
2	川本 琢也	岡山	5:10.22
3	中井 健二	岡山	5:13.01
<b>男子リミネイションズ</b>			
1	松浦 悠士	広島	
2	柳谷 崇	岡山	
3	柏野 智典	岡山	
<b>男子チームスプリント</b>			
1	広島 前反・大川・大瀬戸		1:03.89
2	山口 隅・山下・友永		1:04.36
3	岡山 守谷・紀井・黒田		1:04.75
<b>男子4km 団体追抜競走</b>			
1	岡山 三宅・新村・藤原・片山		4:40.42
2	広島 石田・吉本・古橋・三登		4:47.72
<b>第39回関東地区7<sup>0</sup>選手権大会</b> (2012/10/29 群馬・ケリツ-ム前橋) 335m			
<b>男子スプリント</b>			
1	志村 太賀	山梨	
2	山口 貴弘	栃木	

3	雨谷 一樹	栃木	
<b>男子1km タイムトライアル</b>			
1	矢口啓一郎	群馬	1:05.713
2	松田 優一	茨城	1:06.675
3	村上 貴彦	栃木	1:07.313
<b>男子ケリツ</b>			
1	武田 豊樹	茨城	
2	神山 拓弥	栃木	
3	飯嶋 則之	栃木	
<b>男子4km 個人追抜競走</b>			
1	牛山 貴広	茨城	4:56.533
2	峠 祐介	埼玉	4:57.652
3	磯田 旭	栃木	5:08.369
<b>男子リミネイションズ</b>			
1	小林 潤二	群馬	
2	爲田 学	長野	
3	諸橋 愛	新潟	
<b>男子チームスプリント</b>			
1	群馬 稲村・矢口・木暮		1:01.946
2	新潟 加賀・古屋・城		1:03.872
3	埼玉 大畑・片折・鈴木		1:04.901
<b>男子4km 団体追抜競走</b>			
1	群馬 田村真・手島志・手島達・石川		4:30.205
2	埼玉 白岩・金子大・一戸・土屋		4:34.666
3	新潟 大矢・田村武・伊藤・小峰		4:40.939
<b>女子ケリツ</b>			
1	中村由香里	東京	
2	増茂るこ	東京	
3	岡村 育子	埼玉	



## 日本新記録

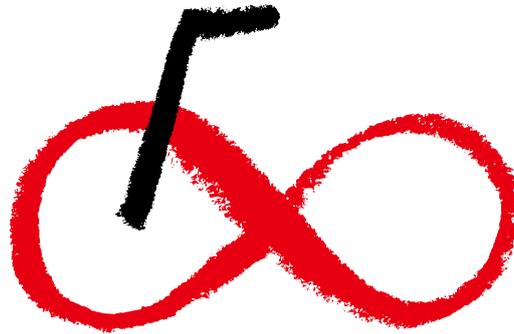
■ 女子チーム・スプリント・250m×2

女子エリート 35" 199 日本 (前田佳代乃、石井寛子)

2012/10/11

コロンビア・カリ

無限の夢へ、走りだそう。



# RING!RING!

## プロジェクト

競輪の補助事業

# 第29回全日本BMX選手権大会

男子エリートは長迫が連勝!



男子エリート、993が優勝の長迫

## 【競技結果】

第29回全日本BMX選手権大会  
(2012/10/27-28 静岡・日本CSC)

### タイムトライアル男子エリート

- 1 長迫 吉拓 岡山 30.470
- 2 松下 翼 神奈川 31.050
- 3 三瓶 将廣 神奈川 31.140

### タイムトライアル女子エリート

- 1 山野本悠里 広島 38.030
- 2 飯端 美樹 大阪 38.920
- 3 渡辺 楓 岡山 39.360

### タイムトライアル男子ジュニア

- 1 吉井 康平 東京 32.040
- 2 瀬古 祐太 三重 32.830
- 3 吉村 啓斗 大阪 34.660

### BMX 男子エリート

- 1 長迫 吉拓 岡山
- 2 松下 翼 神奈川
- 3 吉村樹希敢 大阪

### BMX 女子エリート

- 1 山野本悠里 広島
- 2 飯端 美樹 大阪
- 3 渡辺 楓 岡山

### BMX 男子ジュニア

- 1 吉井 康平 東京
- 2 瀬古 祐太 三重
- 3 吉村 啓斗 大阪



女子エリート  
19が優勝の山野本



男子ジュニア、22が優勝の吉井

KEIRIN   
この大会は競輪の補助金を受けて開催されました

## < JCF オフィシャル・スポンサー >

PEARLIZUMI

ANCHOR

AEON

Kabuto

JINS

Meitan  
SuperAthlete

伊藤超短波

Toko Metal  
Multi Material Recycler

GOLDWIN

日商エステム

## < オフィシャル・サプライヤー >

JAPAN AIRLINES

Vittoria

CYCLOCHANNEL  
シクロチャンネル cyclochan.net



シクリスムエコー No.195 2012年11月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/大島研一

編集人/塚本芳大

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>



この資料および  の表示がある事業は、JKA から競輪収益の一部である公益事業資金の補助を受けたものです。  
© (財)日本自転車競技連盟 2012 年紙掲載の写真、イラスト、ロゴマーク、ロゴタイプおよび記事の無断転載を禁じます。  
※本誌「シクリスムエコー」定期購読をご希望の方は編集事務局までお問合せください。

＝シクリスムエコー読者のみなさまへ＝ 本誌についてのご意見、ご感想、ご要望等を編集事務局までお寄せください。